

都々逸 解いて結んだ 柳の糸を
じらす心か 春の風

四畳半ここを締め切りゃ 二人の天下
遠慮はどこかえ 逃げている

泣いてなぞ いないじゃないのと 笑ってみせて
心で泣いてる そのつらさ

外国船で ふたりでいづこ
ゆらりゆらゆら 夢の中



サラリーマン川柳

さあやるか そろそろやるか もう5時か
無礼講 課長は薄目 あけている
結婚も 離婚をしたのも 知らぬ親
縁切ろう 酒とタバコと 人の妻
とりあえず いちおうだいたい なんとなく

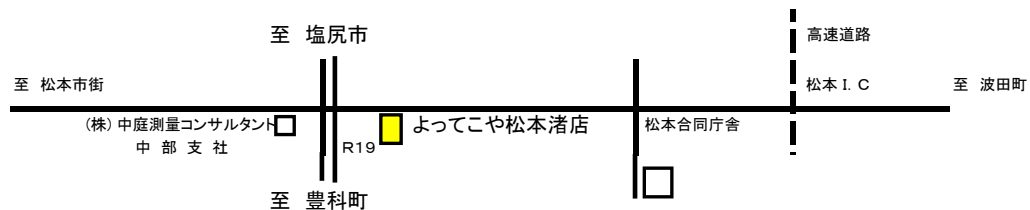
タバコ屋のおじいさん

”タバコ屋のおじいさん”に、
「〇〇へ行きたいんですが…」
と、言うと、おじいさんは、
どうぞ、いいですよ、行って下さい
と、言って下さいました。

江戸こぼなし [辞世]

泥棒を捕まえて殺そうとすると、「この世の名残に辞世の歌を…」と言うので
「盗っ人のくせに、和歌をたしなむとは風流な奴じゃ。よしよし聞いてやるから詠んでみろ」
と言うと『かかる時こそ命の惜しからめ かねて亡き身と思ひ知らずば』と、深刻ぶって
詠みあげた。途端に、聞いていた人たちが怒りだし「馬鹿め！それは太田道灌の詠んだ
歌ではないか！」と怒鳴りつけると「はい、これが、この世の盗み納めでございます」

おいしいラーメン屋さん 『長野県 松本市 編』



プラザ合意

日本の大幅な貿易黒字は、特にアメリカに大幅な貿易赤字をもたらし、1985年ニューヨークのプラザホテルで開かれた「G 5」で合意された内容が「プラザ合意」である。アメリカの貿易赤字を減らすため、それまでドル高・円安だった為替を円高・ドル安に修正すること。そのためにG5の国が為替に協調介入すること。日本は経済構造をそれまでの輸出主導型から内需主導型に変えて内需拡大に力を入れる事が合意された。

江戸のことわざ [帯に短し襷に長し]

帯にするには短すぎ、襷にするには長すぎる。中途半端で役に立たないたとえである。襷は本来神事祭に掛けるもので、儀礼用の姿であった。襷は帯よりも儀礼度が高かった。江戸時代には日常的に着用されるようになり、その一方で多彩な発展を見せるのが帯で長着が常用となり帯は必需品となり、さらに姿を美しく見せる装飾品となった。

くろうと、しろうと

「くろうと、しろうと」を使って単文を作れ。「彼は、僕のくろうと努力をしろうとしない」

江戸五大御家騒動

- 1 伊達騒動 1671年 | 家老が藩主を押し込めて幕府に隠居願いを出した。
- 2 お由羅騒動 1849年 | 相続争いだけでなく、政治的な様相も見える。
- 3 加賀騒動 1747年 | 財政改革をめぐる改革派と保守派の争いが根底にある。
- 4 黒田騒動 1633年 | 君を捨て、藩を守るための大芝居では。
- 5 鍋島騒動 江戸初期 | 竜造寺氏への判官びいきが生んだ史実と違う「化け猫騒動」
センセーショナルな御家騒動は庶民の興味の的となり、歌舞伎等として今に残された。

数学の時間

末尾にある「4」という数字を頭に移動すると、もとの4倍になる整数は？

数学の時間答え

1号の答え 930円。 $15:9=5:3$ $(15+7.5)=22.5\%$
 $270 \div 0.225=1,200$ $1,200-270=930$ 円

2号の答え 例えば、 $3+1.5=4.5$ $3 \times 1.5=4.5$
 $B=A/A-1$ とすれば良い。